



京葉銀行会社説明会

～個人投資家の皆さまへ～

平成28年7月27日
(東証第1部：8544)

確かな“きずな”を、未来へ。

株式会社 京葉銀行

本日のご説明内容（目次）

- | | |
|--------------------|---------|
| 1. 京葉銀行と千葉県について | P2～P6 |
| 2. 業績概要について | P7～P14 |
| 3. 将来へ向けた課題と戦略について | P15～P22 |
| 4. 株主さまへの還元について | P23～P25 |
| 5. 地域貢献への取り組みについて | （動画） |

1. 京葉銀行と千葉県について

（１）京葉銀行のプロフィールとネットワーク

■設立以来、千葉県内に特化した営業体制

設立		昭和18年3月
総資産		4兆4,897億円
預金		4兆961億円
貸出金		3兆988億円
自己資本比率		11.52% (国内基準、単体)
行員数		2,101人
店舗数		119ヵ店 (うち出張所2ヵ店)
店舗外ATMコーナー		156ヵ所
県内 提携ATM	コンビニE-net	661ヵ所
	セブン銀行	1,187ヵ所
	イオン銀行	363ヵ所
	ローソン	414ヵ所
	JR東日本 VIEW ALTTE	39駅 55台



(平成28年3月末現在)

(2) 京葉銀行のあゆみ

■お客さま、地域、株主の皆さまに支えられ、業容・シェアを拡大



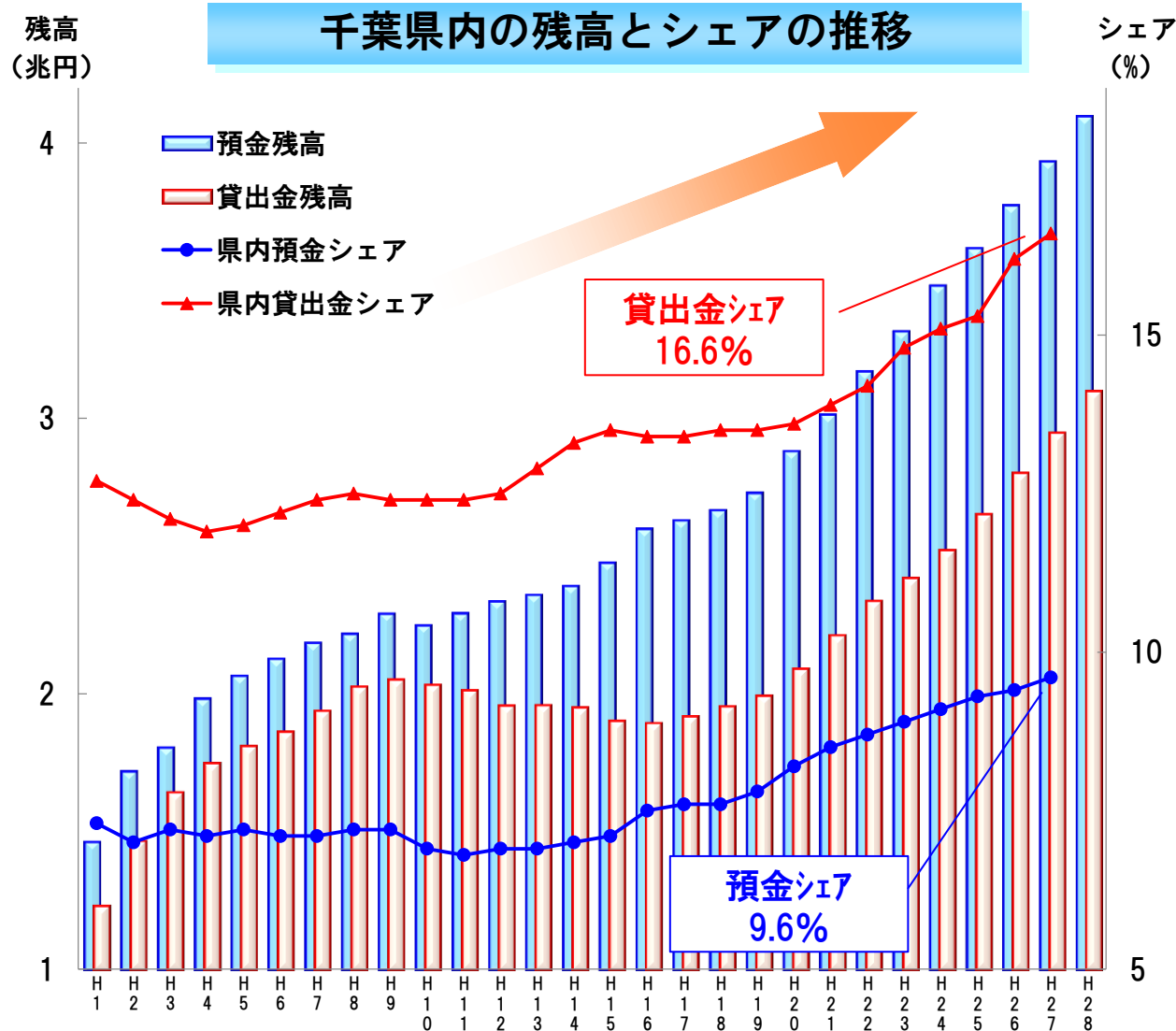
千葉みなと本部

- ・千葉市都市文化賞2015グランプリ受賞
- ・第22回千葉県建築文化賞最優秀賞



本店

- S18年 3月 設立
- S40年 5月 本店を現所在地へ新築移転
- S49年 2月 東証第1部に上場
- S54年 3月 預金5,000億円達成
- S62年 3月 預金1兆円達成
- H 1年 2月 京葉銀行へ商号変更
- H 5年 3月 預金2兆円達成
- H21年 3月 預金3兆円達成
- H25年 3月 創立70周年
- H27年 5月 千葉みなと本部稼働
- H27年 9月 預金4兆円達成
- H28年 1月 本店リニューアル

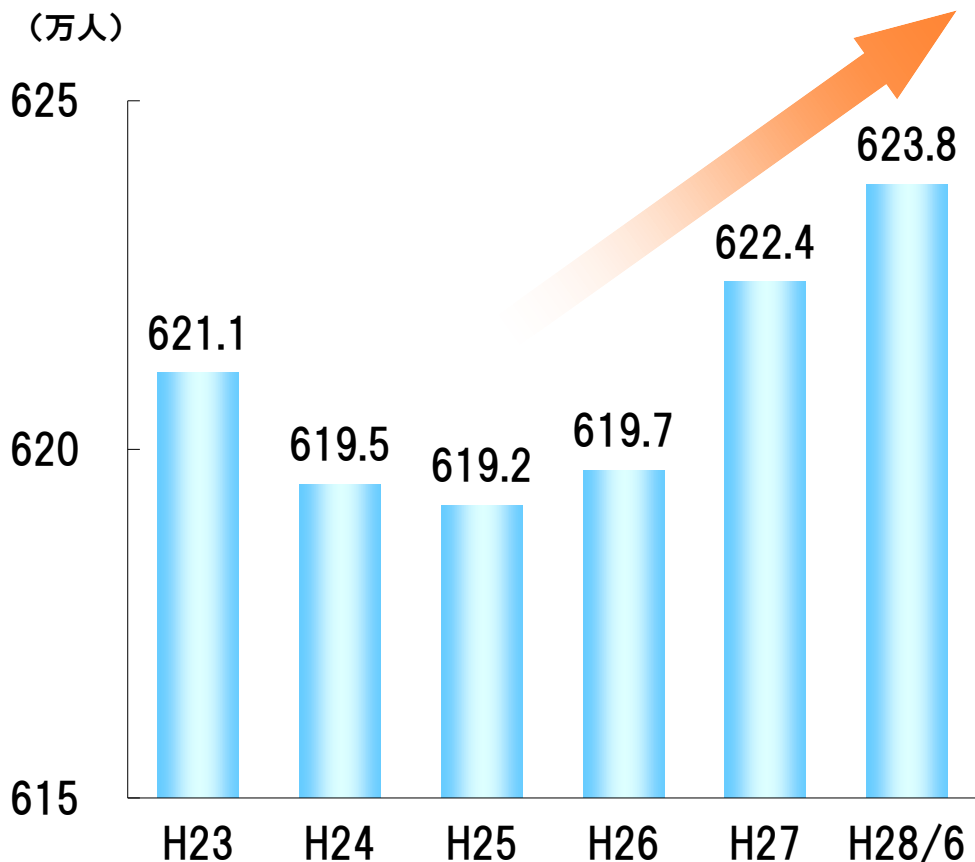


(3) 千葉県の概況①

■全国有数の人口規模、生産年齢人口比率も高い

人口の推移

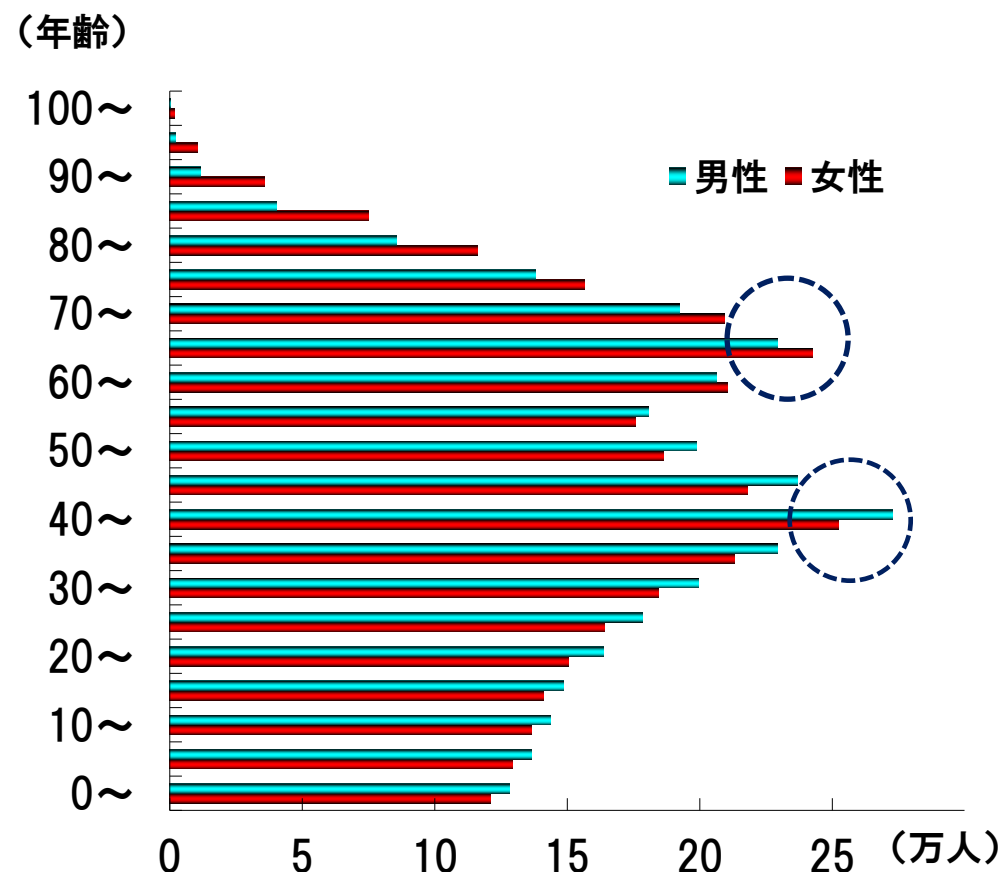
人口数は全国第6位、直近は増加に転じる



出所：千葉県「毎月常住人口調査」（各年10月1日現在）

年齢階層別人口

団塊、団塊ジュニア世代が多い



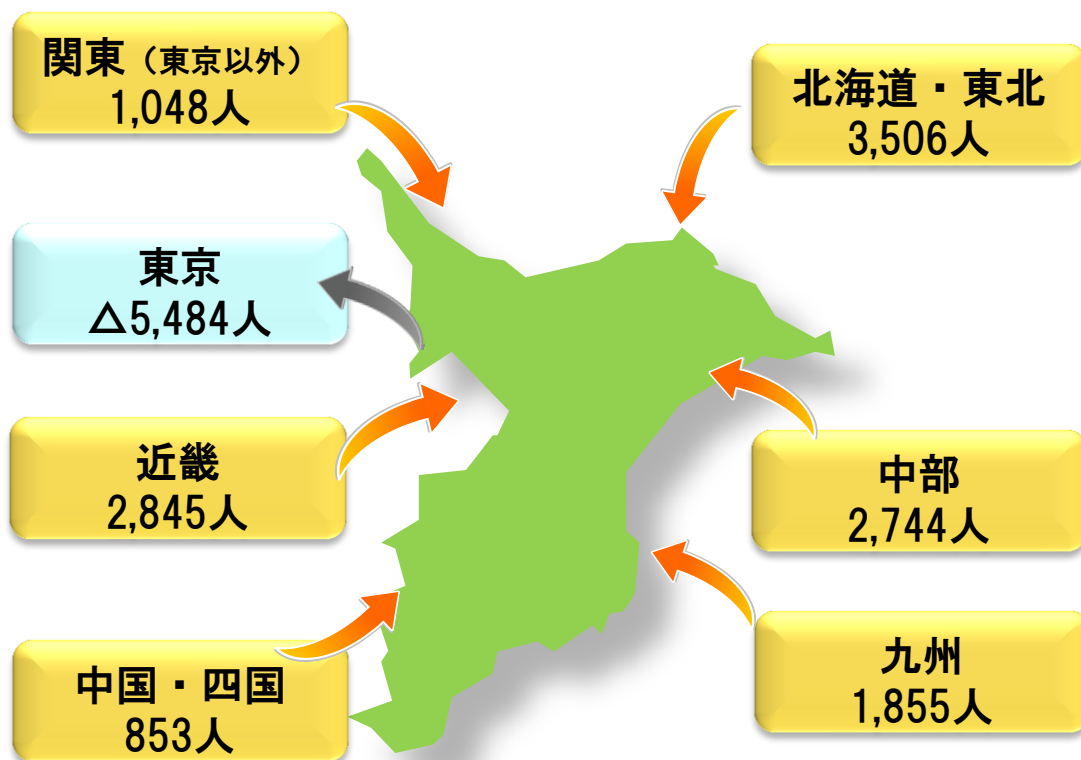
出所：千葉県「年齢別・町丁字別人口調査」（平成27年4月1日現在）

(4) 千葉県の概況②

■今後も持続的な成長が十分見込めるマーケット

千葉県外との人口移動（増減数）

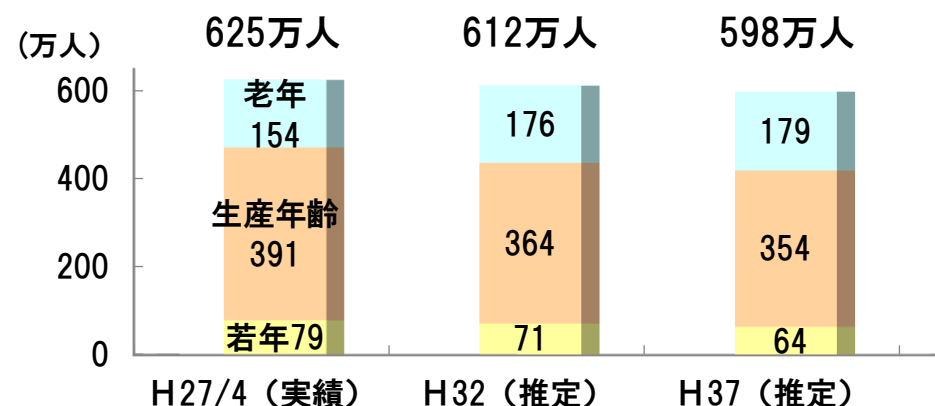
1年間（H26） 7,367人増加



出所：千葉県「平成26年毎月常住人口調査報告書（年報）」（国外及び外国人除く）

将来推計人口

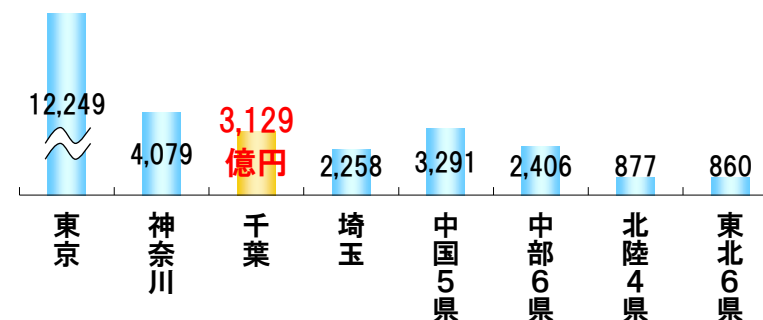
10年後も約600万の人口をキープ



出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成25年3月推計）

個人預金年間増加額

増加額は全国第3位



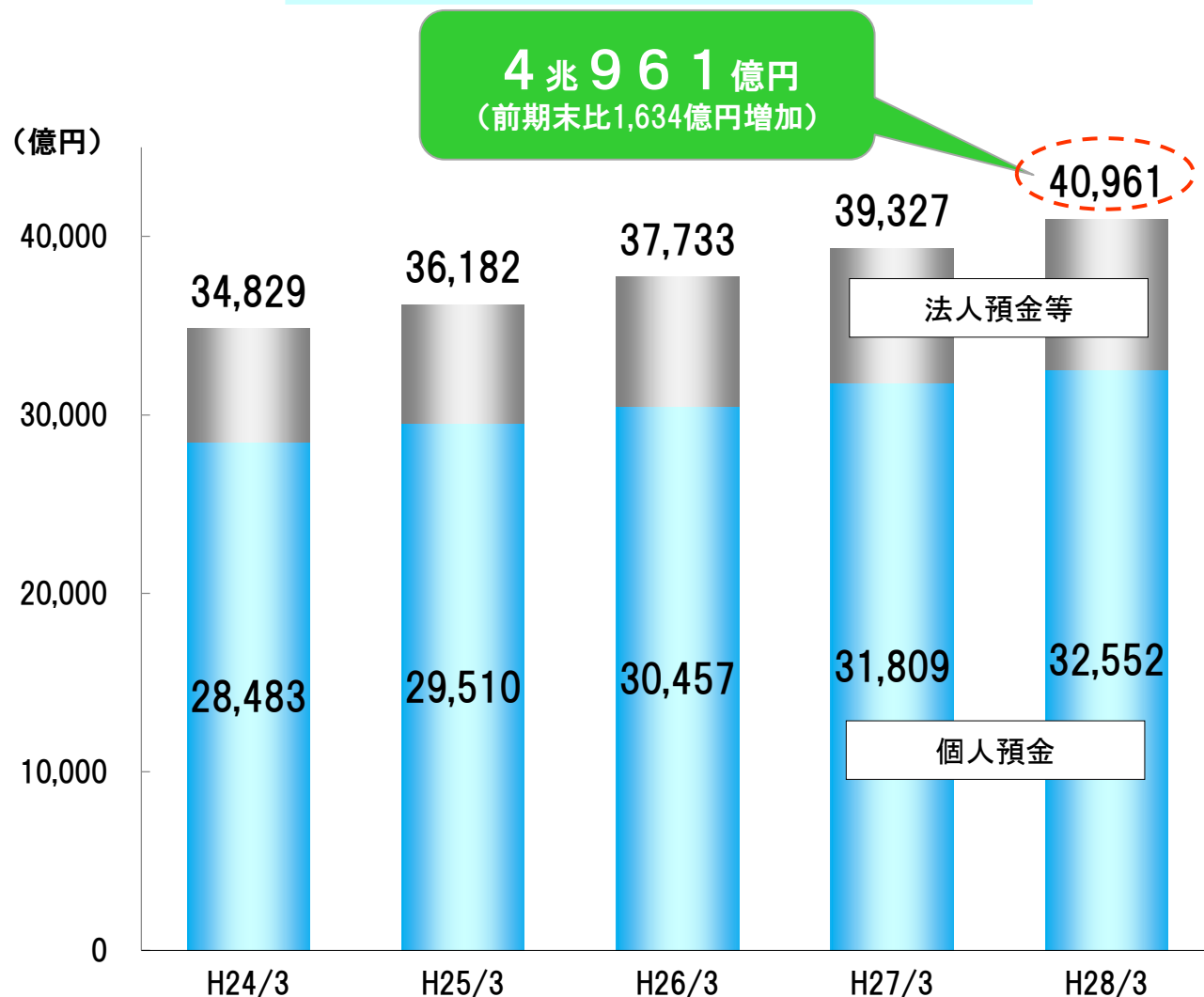
出所：日本銀行HP公表資料（平成28年6月末時点の1年間の増減）

2. 業績概要について

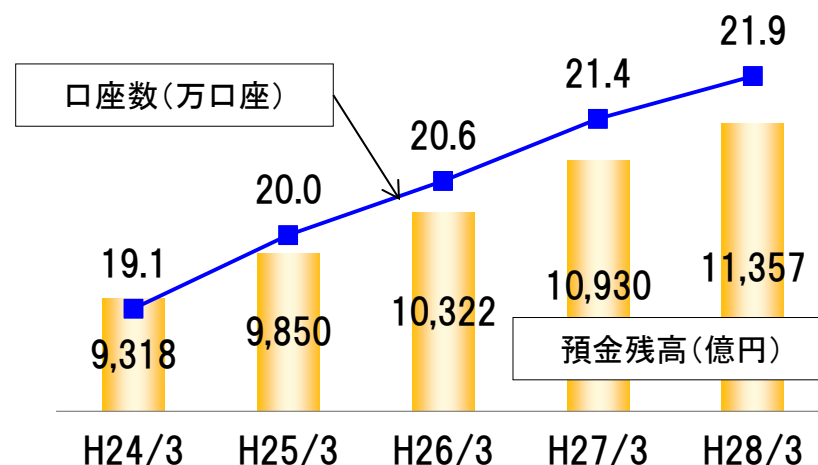
（１）成長性① ＜預金＞

■年金・給与の受け取りがけん引し、個人預金を中心に伸長

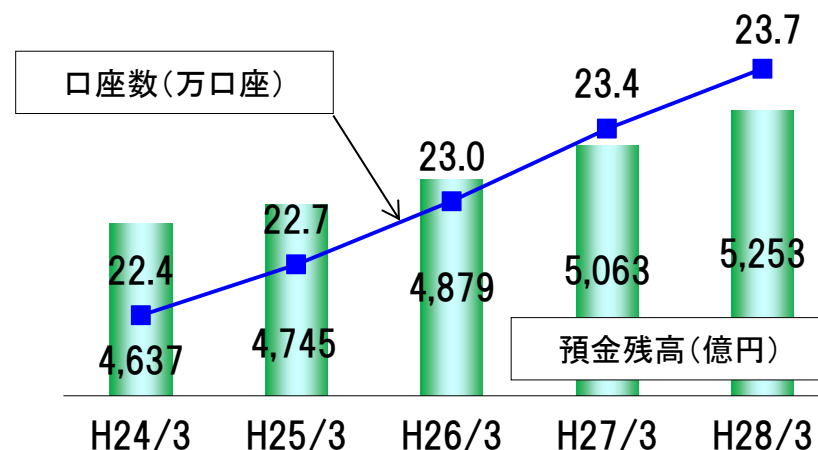
総預金残高及び個人預金残高



年金受取の預金残高と口座数



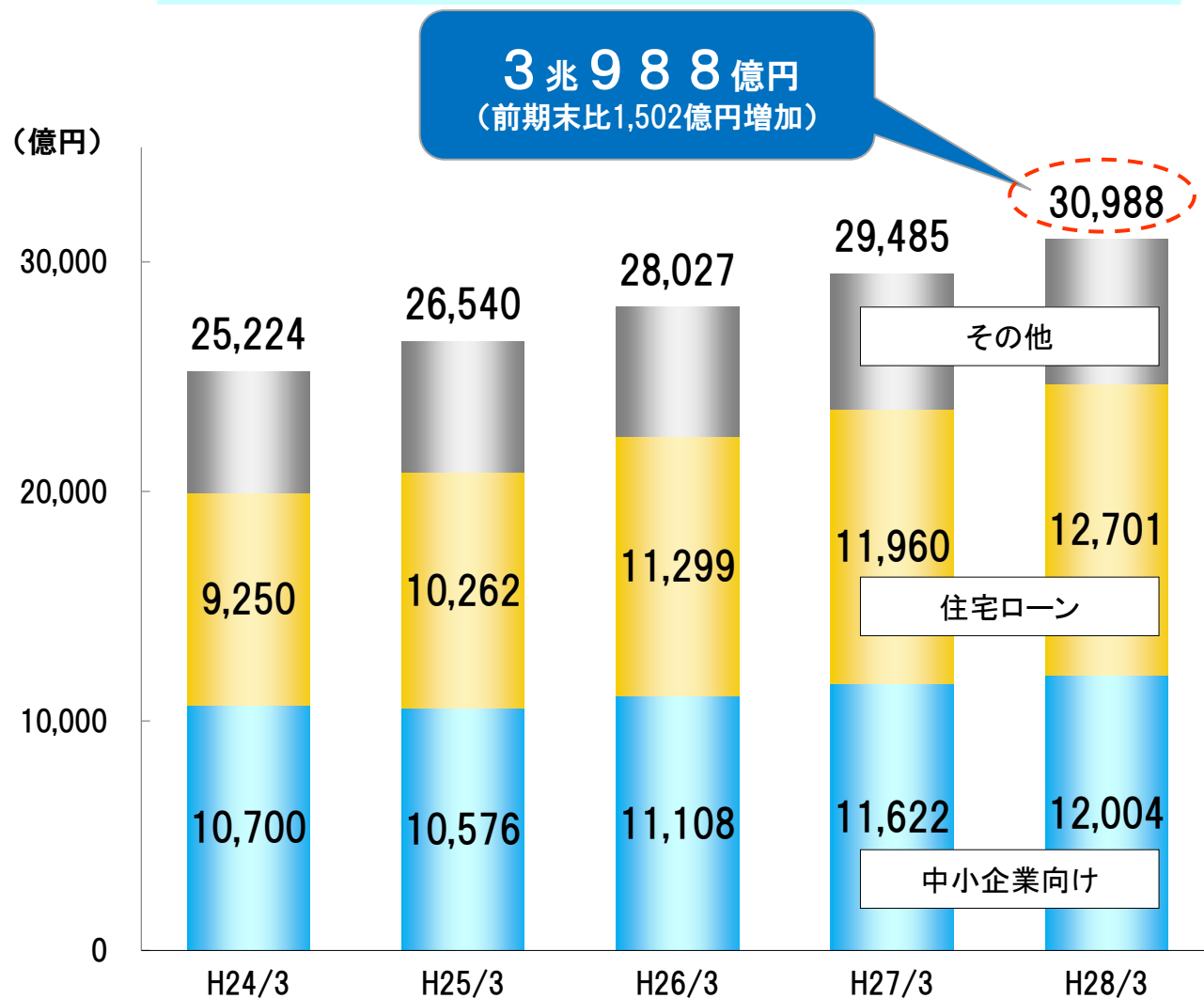
給与受取の預金残高と口座数



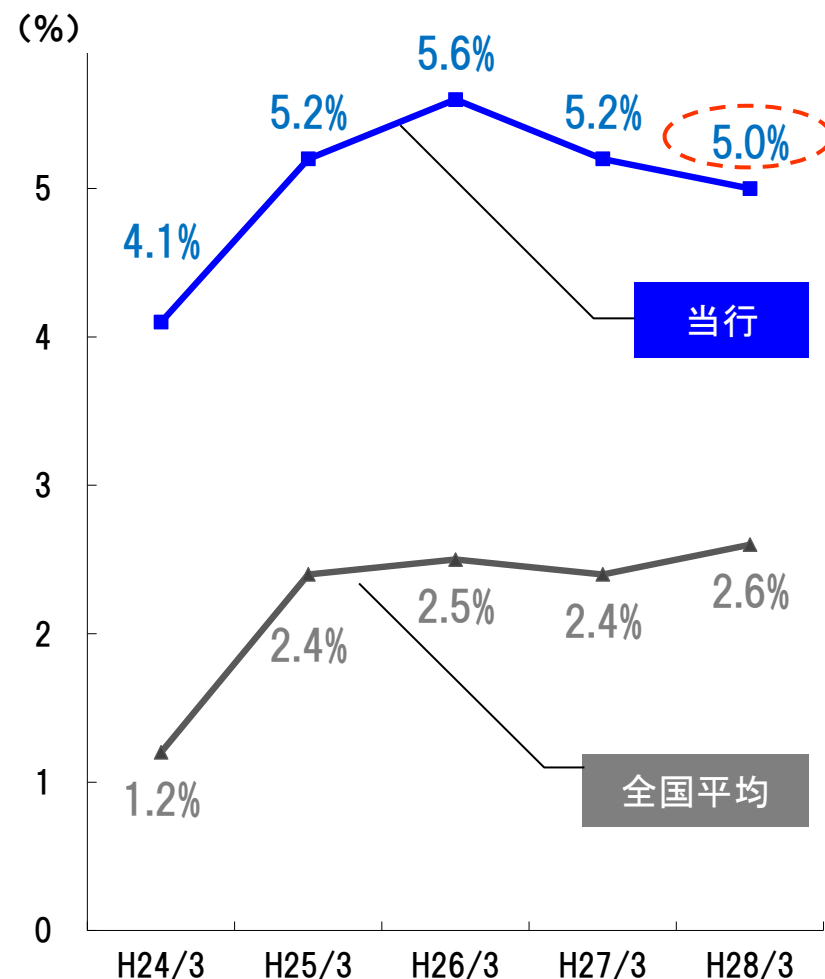
(1) 成長性② <貸出金>

■住宅ローン、中小企業向け融資を柱に、全国平均を上回る増加率

総貸出金及び住宅ローン、中小企業向け残高

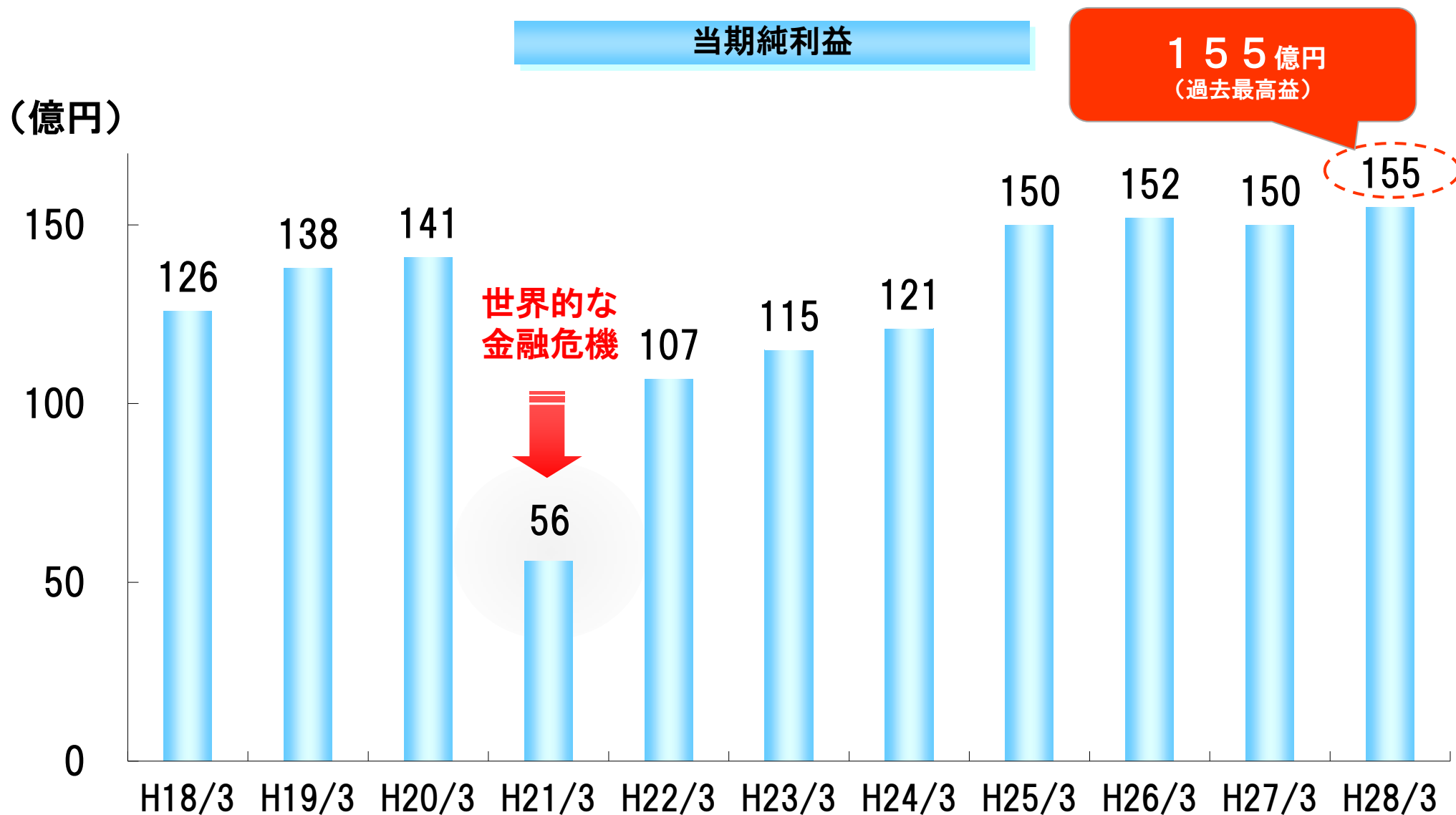


総貸出金の対前年増加率



(2) 収益性① <当期純利益>

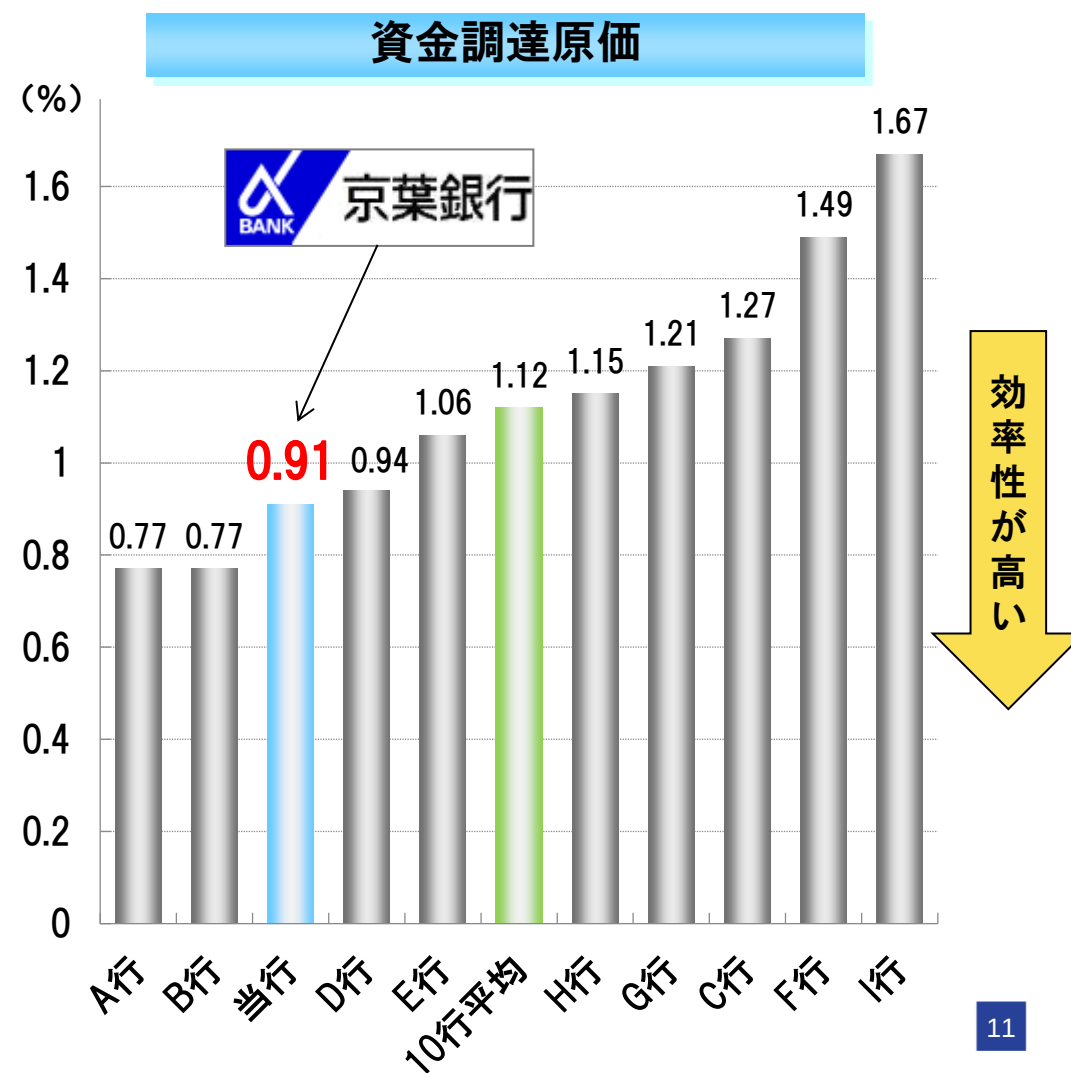
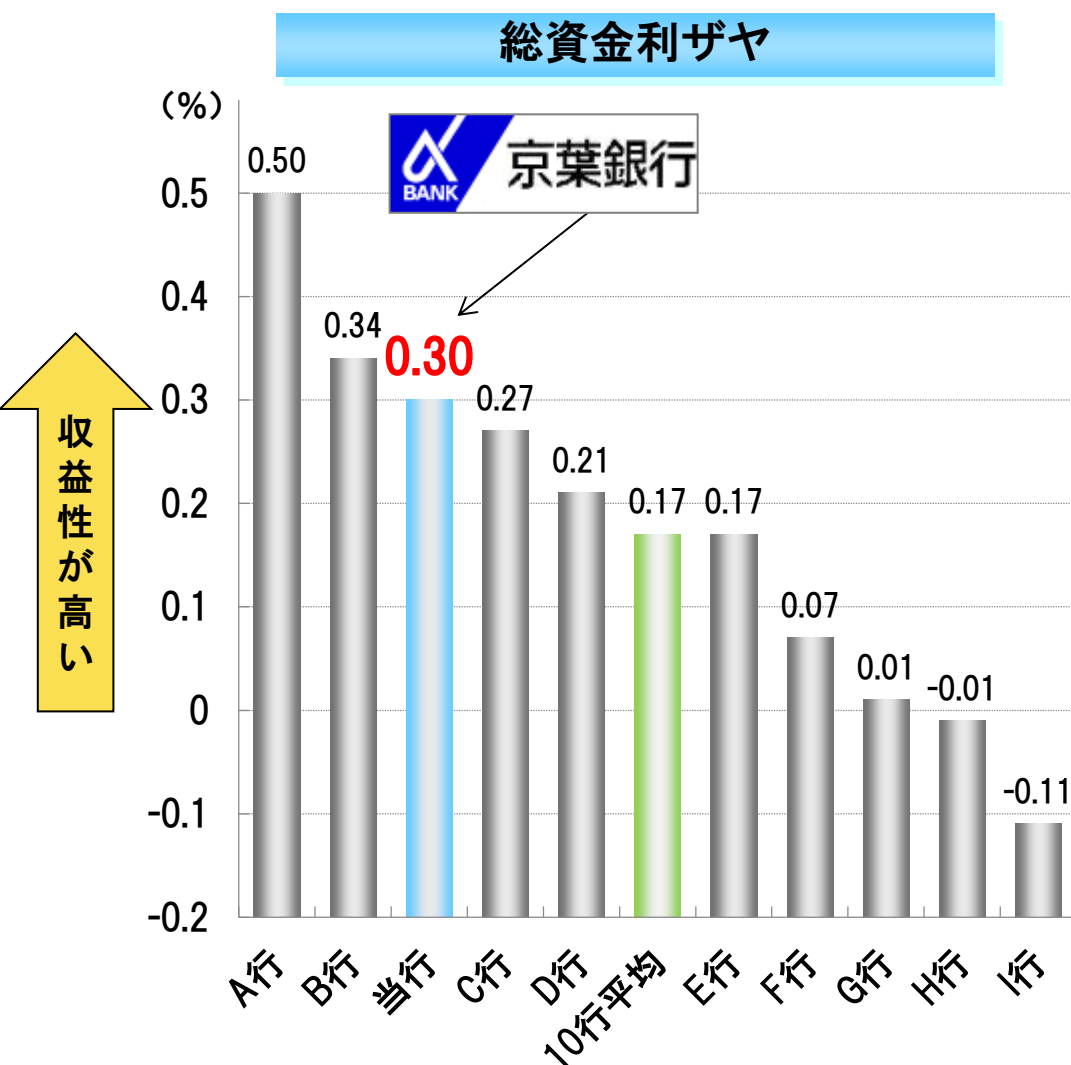
■当期純利益は155億円と過去最高益を計上



(2) 収益性② <総資金利ザヤ、資金調達原価>

■首都圏に本拠地を持つ地銀（※）と比較しても、当行は優位性をもつ

（※）千葉県、東京都、神奈川県、埼玉県に本店を置く **地方銀行10行**の平成28年3月末基準の数値。

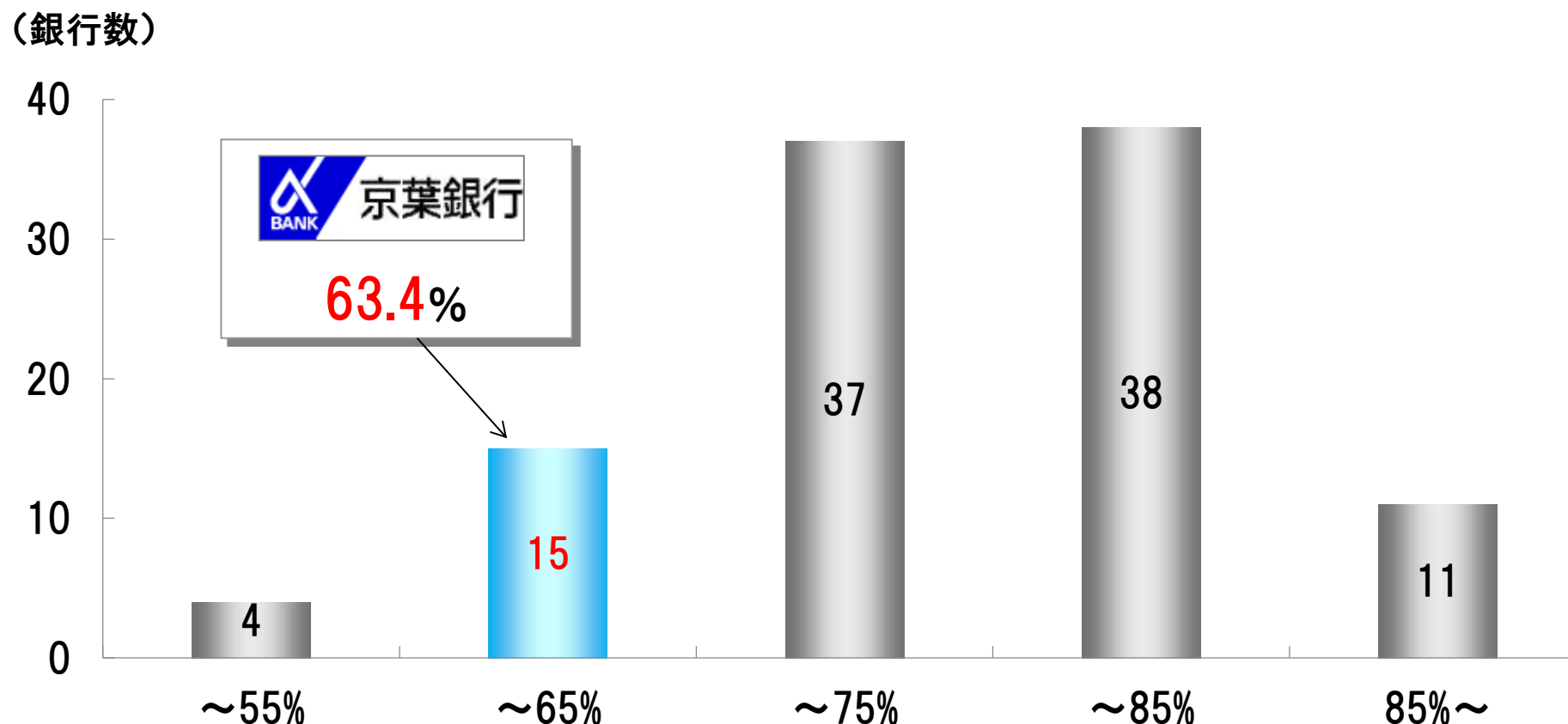


(3) 効率性 <OHR>

■新本部棟など将来に向けた投資を行いつつ、スリムな経営体質を実現

OHRとは、「経費」を、一般の事業会社では売上総利益に相当する「コア業務粗利益」で除したもので、数値が低いほど効率性が高いことを示します。

平成28年3月期
地方銀行（105行）のOHR分布状況

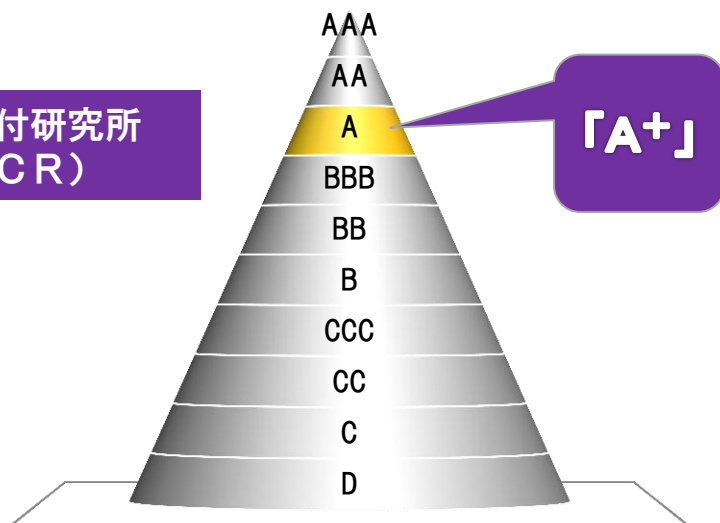


（４）健全性 <外部格付・自己資本比率・不良債権比率>

■高い健全性を維持 地域のお客さまへ安定的に資金を供給

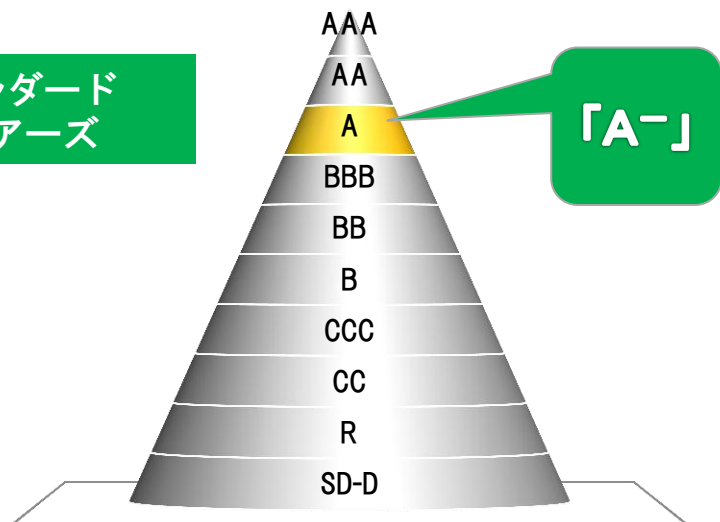
格付機関による評価

日本格付研究所
(JCR)



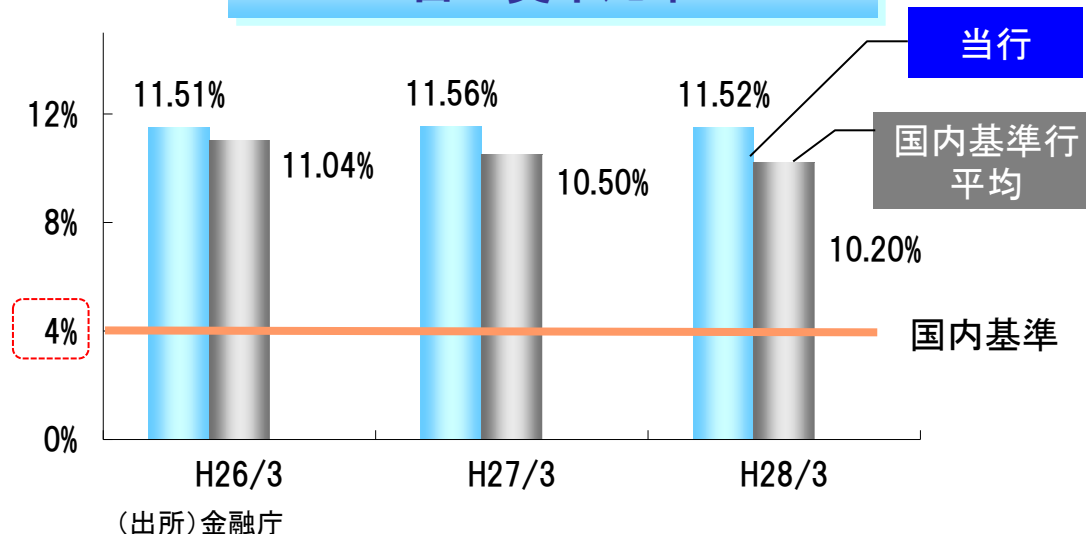
※長期発行体格付（平成28年5月31日現在）

スタンダード
& プアーズ

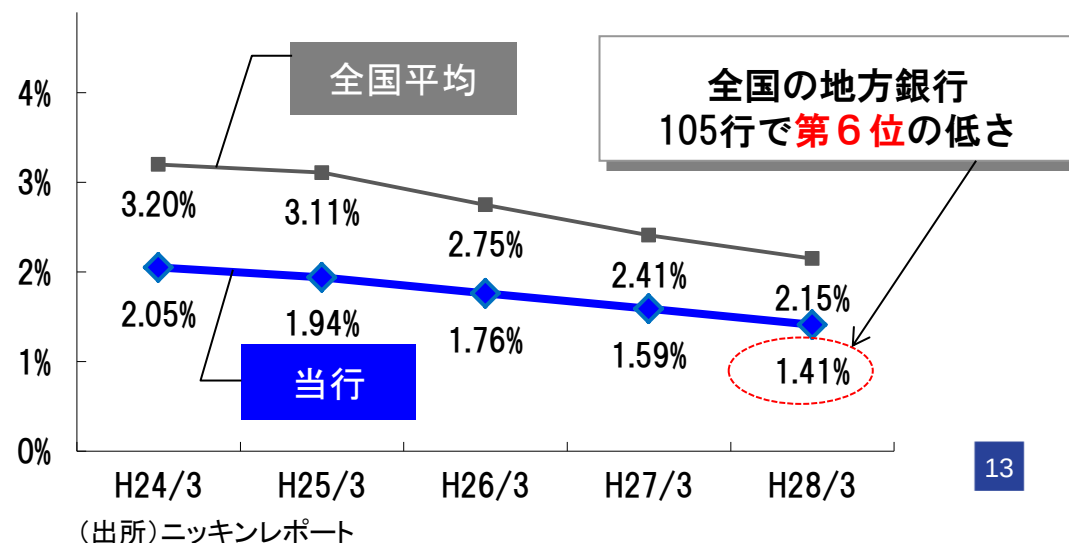


※長期カウンターパーティ格付（平成28年5月31日現在）

自己資本比率



不良債権比率



(5) 平成28年度業績予想

■マイナス金利の影響を受けるも、預金・貸出金ともに増加を見込む

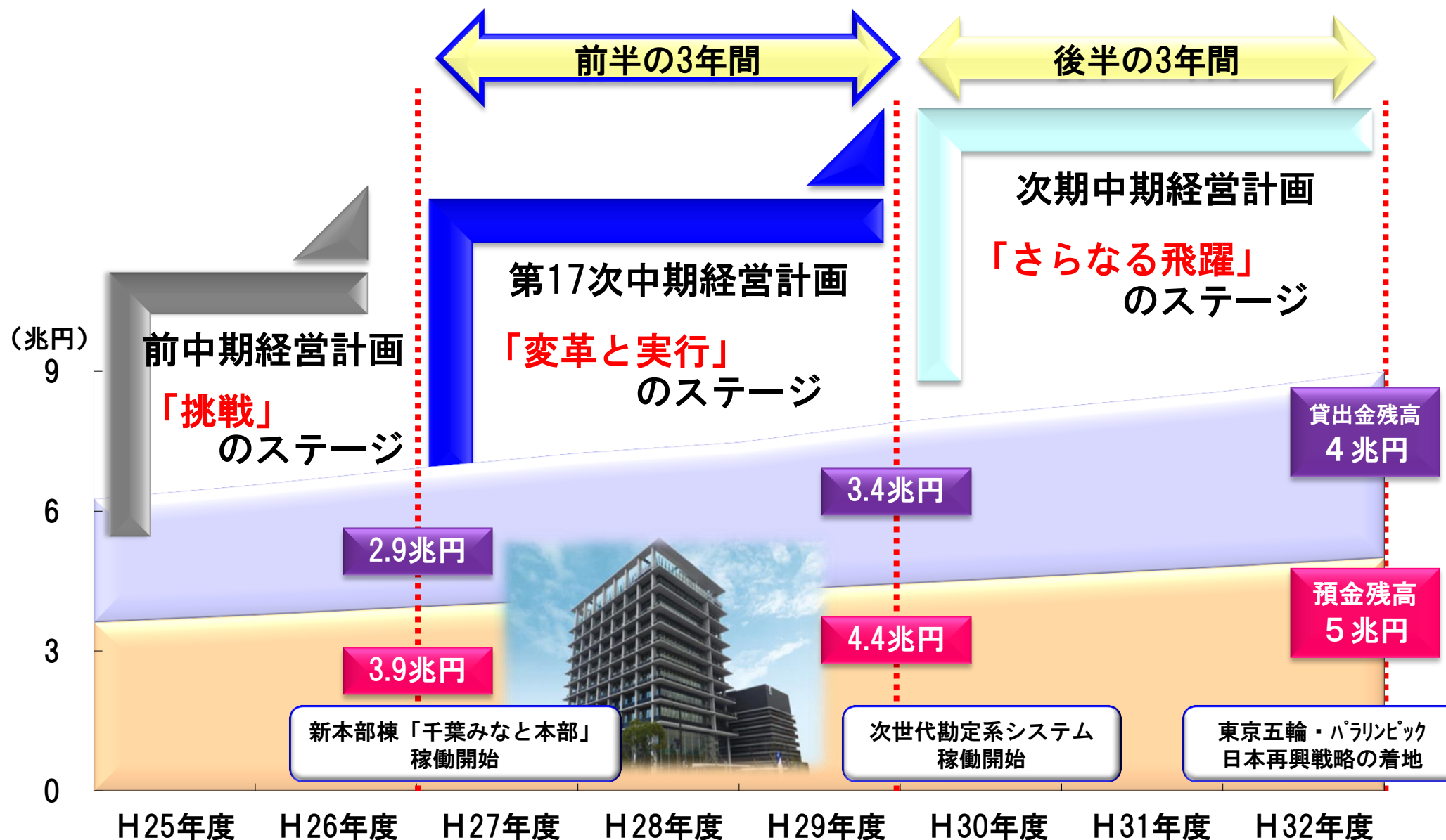
収 益	平成27年度 (28年3月期) 実績	平成28年度 (29年3月期) 計画	(億円)	
			前年度比	
経常利益	239	200	▲39	
当期利益	155	135	▲20	

預金・貸出金	平成27年度 (28年3月期) 実績	平成28年度 (29年3月期) 計画	(億円)	
			前年度比	
預金残高	40,961	42,560	1,599	
貸出金残高	30,988	32,450	1,462	

3. 将来へ向けた課題と戦略について

（１）第17次中期経営計画① ＜長期ビジョン＞

■平成32年度、預金5兆円、貸出金4兆円の長期ビジョンを掲げる



（１）第17次中期経営計画② ＜計画の概要＞

■将来への持続的成長へ向けた「変革と実行」のステージ

名称

第17次中期経営計画
α ACTION PLAN 2018

期間

3年間（平成27年度～平成29年度）

目指す銀行像

お客さまに信頼と利便性、高い満足度を提供する
魅力のある、活力あふれる銀行

3つの経営課題

I. 地域活性化への積極的な貢献
II. 将来を見据えた経営基盤の構築
III. 経営管理態勢の高度化

計数目標
（平成30年3月期）

当期純利益
140億円

自己資本比率
12%程度

OHR
65%程度

預金残高
4.4兆円程度

貸出金残高
3.4兆円程度

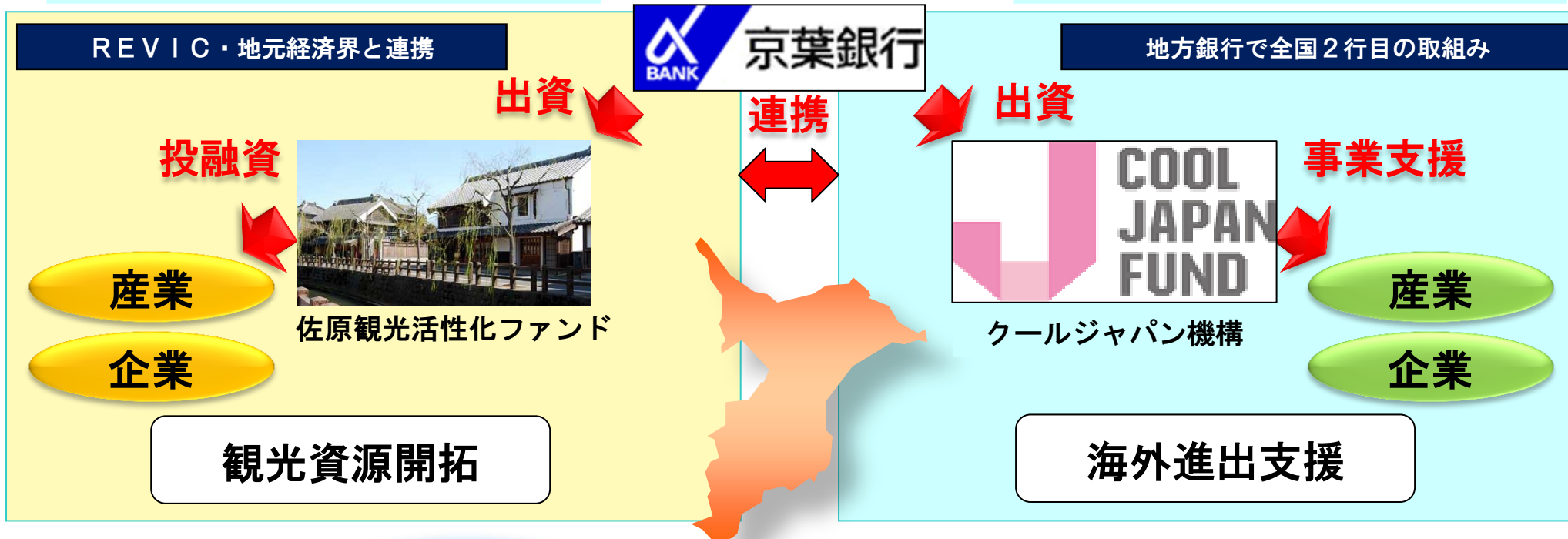
※当期純利益、OHRについては平成28年5月11日に目標の見直しを行っております。

(2) 地方創生への取り組み①

■地域の「強み」を活かし、インバウンド誘致を促進

観光活性化ファンドの設立

クールジャパン機構への出資



海外発行カード対応ATM

外国人旅行者の利便性向上
を目的に設置
(平成28年秋以降を目途)

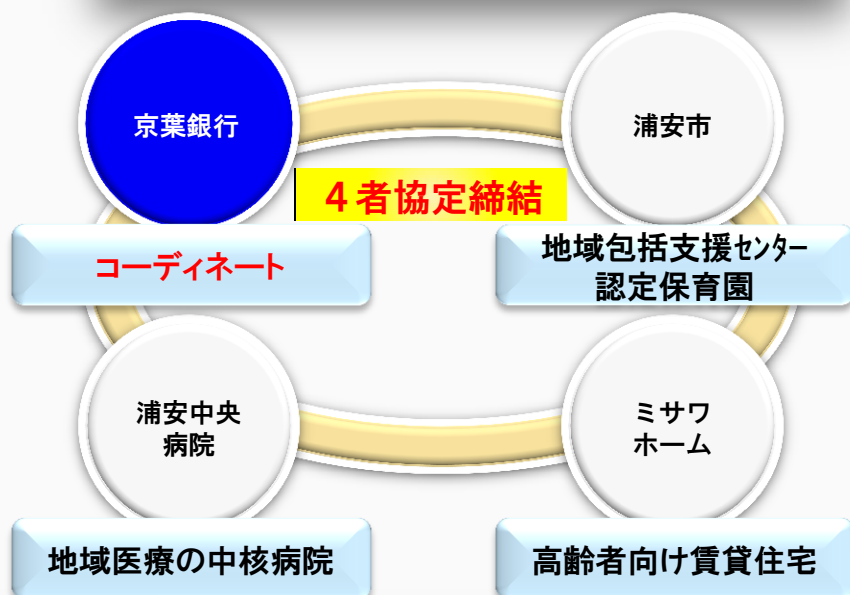


(2) 地方創生への取り組み②

■地域金融機関として「少子高齢化」、「大相続時代」への的確に対応

地域包括ケアシステムの構築

子育てから介護まで安心して暮らせる
「まちづくり」を支援



相続相談窓口

相続に関する悩みや心配事に
専門スタッフが親身に対応

現在5店舗で展開

(平成28年6月末現在)

※8月に稲毛支店に6店舗目を設置予定



事業承継セミナー

次世代への円満かつ円滑な
承継をお手伝い

今年度中に

「アルファバンク 後継者塾」

の開講を予定



（３）チャネル戦略① ＜店舗コンセプト＞

■「銀行へ相談に行って良かった」と体感いただける店舗づくり

店舗づくりの「３つのバリュー」

安全

指静脈認証システムを採用した**全自動貸金庫**



お客さまの万が一に備える**AED**



快適

個別ブースの**相談コーナー**



シックハウス症候群を防ぐ
室内空間



便利

多機能ATM



セミナールーム



土・日・祝日の取扱業務拡大

平日の営業時間内にご来店が難しいお客さまの
利便性向上のため、平日の夕方や土・日・祝日に
口座開設や各種変更手続等の受付を行っています。

千葉ローンプラザ

千葉駅東口
駅前メインストリートに位置



銀行手続の窓口

東京駅直結
サピアタワー3F内



※お取引状況等により、お受け付けできない場合がございますので、くわしくはホームページ等をご参照ください。

(3) チャネル戦略② < I T の戦略的活用 >

■戦略的投資を通じて、将来の環境変化に柔軟に対応できる体制へ

A T M



全てのA T Mを I C
キャッシュカード対応へ更改
(平成28年度内を目途)

どなたでも使いやすいユニバーサル
デザインを採用

インターネットバンキング



スマートフォン取引の機能拡充と
セキュリティの向上

ローンや投資信託等の取扱メニュー
追加とワンタイムパスワードの導入

営業支援用タブレット



渉外担当者全員へ配備
(平成28年5月)

訪問先でのタイムリーな情報提供や
コンサルティング提案が可能な体制へ

(4) さらなる成長への取り組み

■お客さまのライフスタイルや市場の変化に迅速、柔軟に対応

次世代勘定系システム



(イメージ)

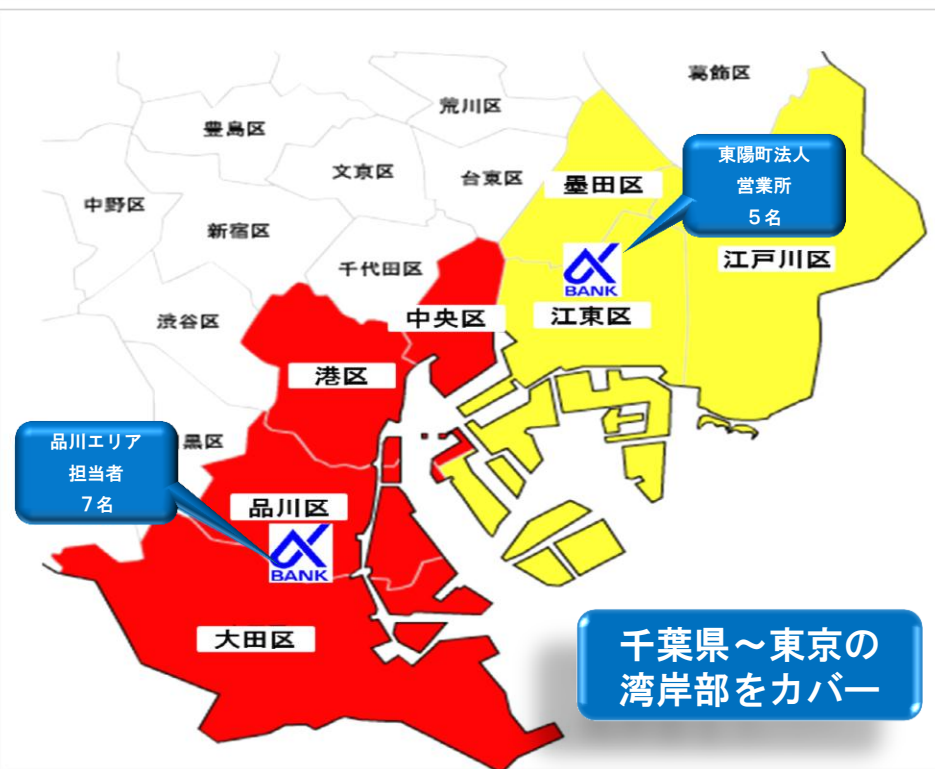
- ①24時間365日の金融サービス
- ②印鑑レス・通帳レス・伝票レス
の実現を目指す
(平成30年度稼働予定)

開発の自由度・柔軟性の高いオープン勘定系
パッケージを使用

東京エリアへの営業強化

東陽町法人営業所の新設(平成27年7月)

- 東京都内に2ヵ所目の営業拠点
- 事業性融資を支援する営業所
- 東京五輪・パラリンピックによる経済効果を取り込む

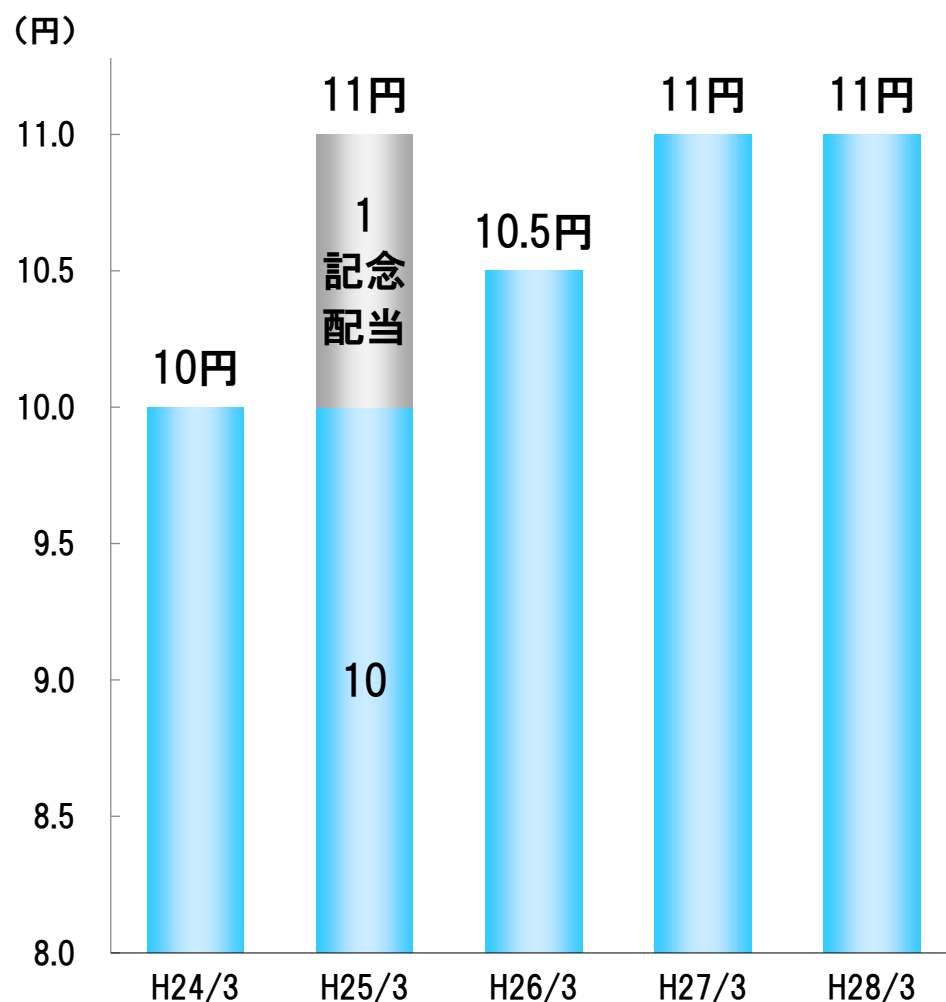


4. 株主さまへの還元について

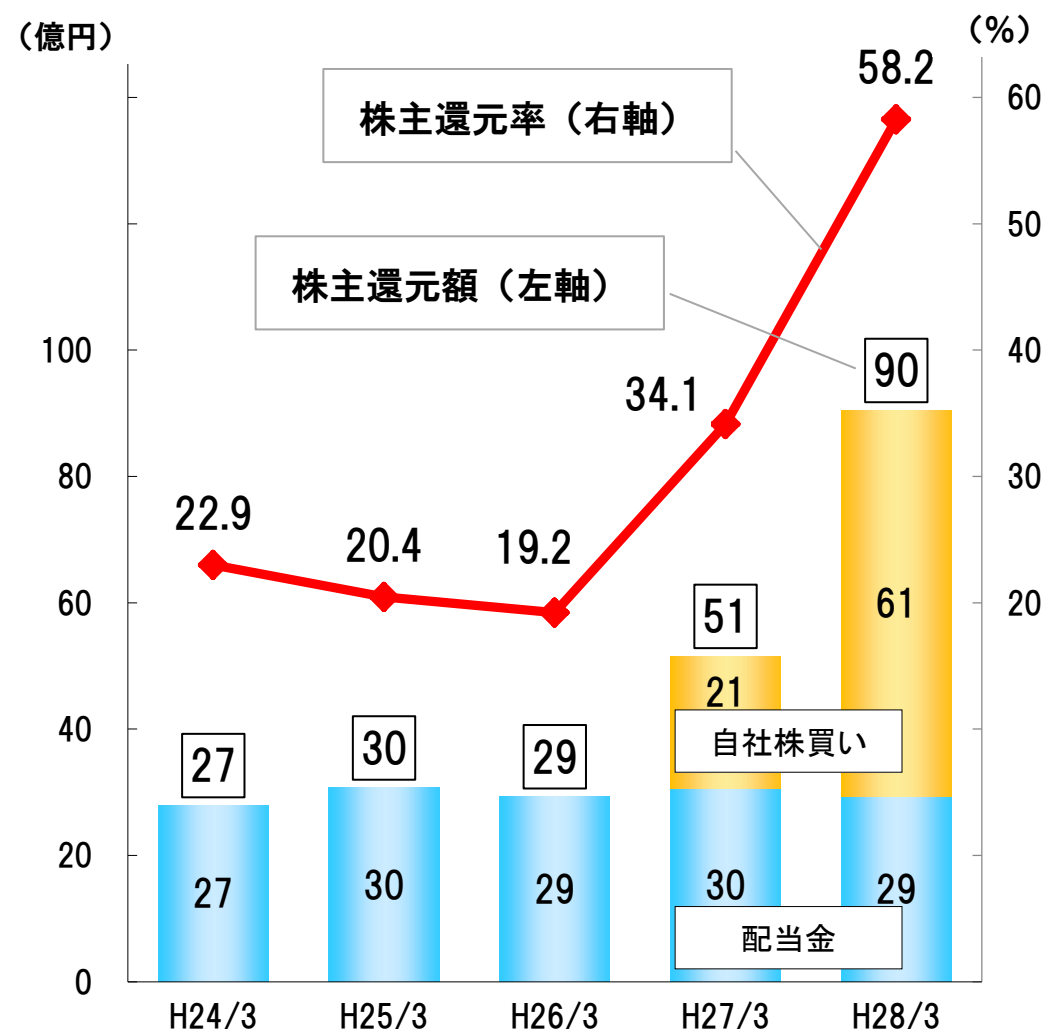
（１）１株当たり配当額・株主還元率

■財務の健全性、資本効率および株主還元の最適なバランスを追及

１株あたり年間配当金



株主還元額・還元率



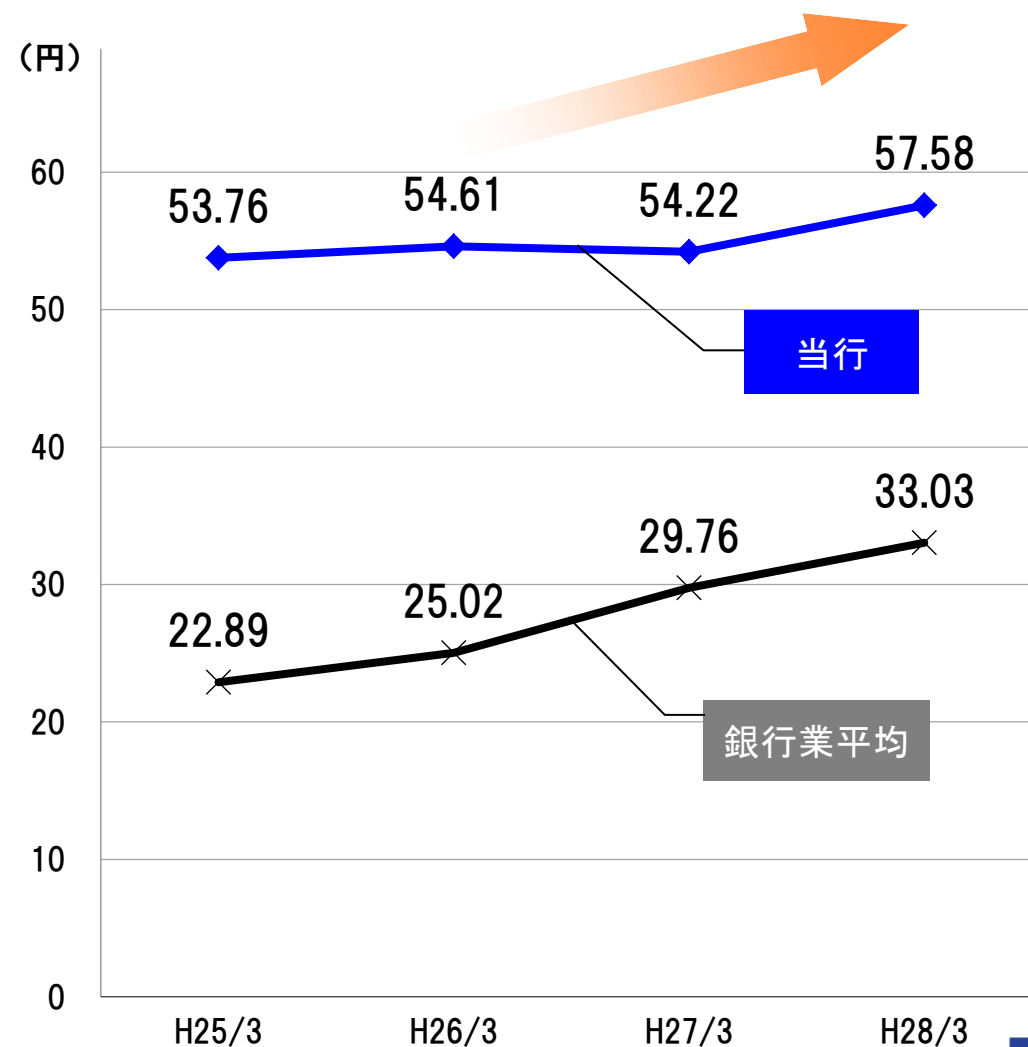
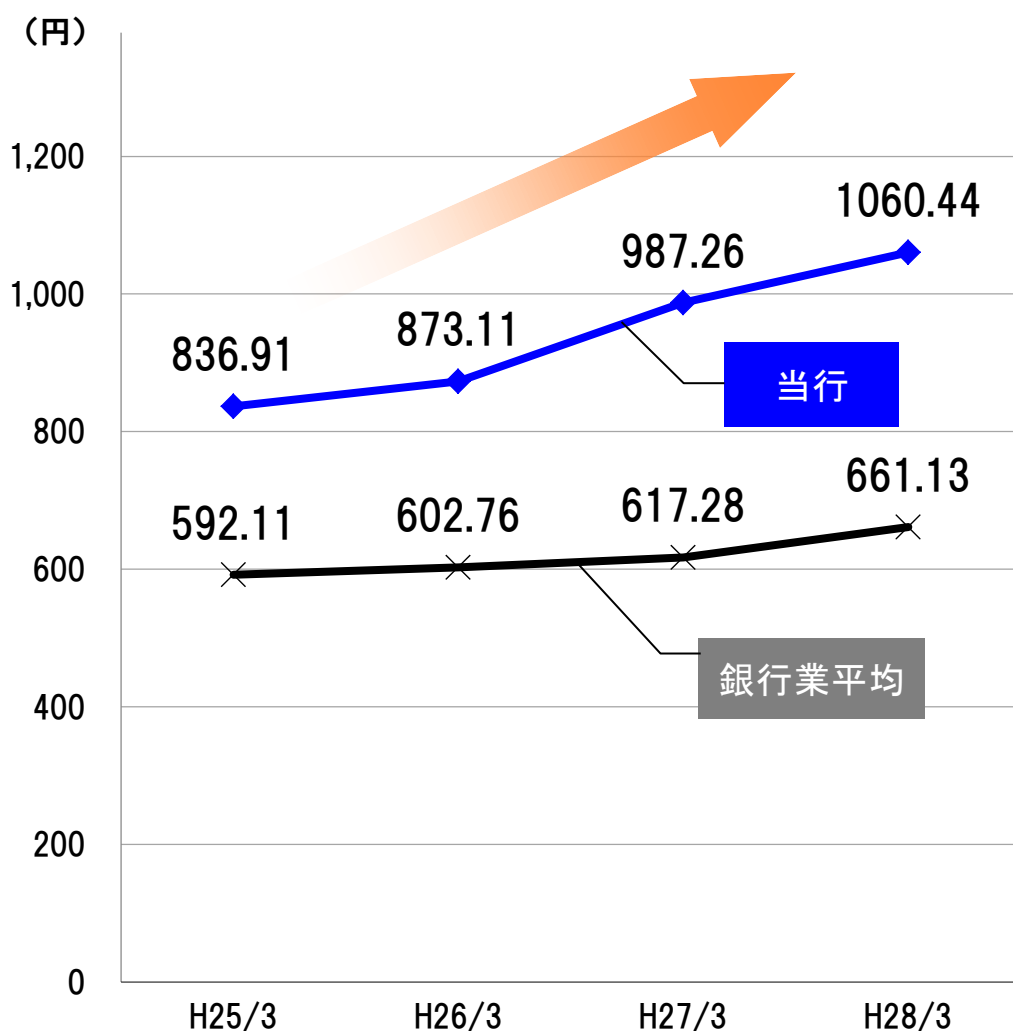
※株主還元率：（年間配当額＋自己株式取得額）／当期純利益

(2) 1株当たり純資産・1株当たり当期純利益

■健全性と収益性を示す指標は、業界平均を大きく上回る水準

1株当たり純資産

1株当たり当期純利益



5. 地域貢献への取り組みについて (動画)



京葉銀行のコミュニケーションシンボル

「A」の文字が描く重なりと上方へ伸びてゆくラインは、
人と人との“きずな”と、そこを出発点に
無限に伸びてゆく未来をあらわしています。
コミュニケーションネームの「アルファバンク」は、
“人とのきずなを大切に、無限の未来を切り開いてゆきたい”
“常に皆さまにプラスアルファを提供し続ける銀行でありたい”
そんな京葉銀行の思いをあらわしています。

＜本資料に関する照会先＞

株式会社 京葉銀行 経営企画部

TEL:043-306-2121

本資料には将来の業績に関わる記述が含まれていますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券を推奨するものではありません。